

解体業者の皆さまへ

装備された全てのエアバッグ類の処理徹底を!!

エアバッグ類の適正処理は自動車リサイクル法第16条で定められた解体業者の義務であり、その処理（取外回収）を怠ることは、自動車リサイクル法違反になります。

見落としやすいシートベルト・プリテンショナーや新機能のニーエアバッグ、シートクッション等も漏れなく処理いただくため、今回お送りする情報を是非ご活用ください。

同封の『エアバッグ類の種類と確認方法』は現場にお持ちいただき、適宜ご参照ください。

《 処理漏れ防止対策1 》

◆ 車台詳細情報での装備確認

自動車リサイクルシステムの「車台詳細情報」で、自動車メーカー等からの出荷時におけるエアバッグ類の装備個数が参照できます。

車台詳細情報 (JPRS0300)

前画面に戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

1. 車台情報

◆車台基本情報		◆メーカー等提供のエアバッグ類装備情報 (「※」はオプション装着の可能性がありますので、現車をご確認ください)			
車台番号	12345678901234567890	運転席	1		
型式	1234567890	助手席	1		
車名	NNNNNNNNNN	サイド	※		
移動報告番号	123456789012345	カーテン	0		
義務者メーカー名	NNNNNNNNNN	プリテン	2		
型式指定番号	8530	◆エアバッグ類 詳細情報			
類別区分番号	089B	一括作動システムへの対応	一括作動システム対応車両です		
◆リサイクル料金預託の有無		機械式の部位	シートベルトプリテンショナーのみ機械式を装備しています		
フロン類預託	有	その他1	サイドエアバッグはオプション装備のため装備を確認して下さい		
エアバッグ類預託	有	その他2			
◆車台装備情報		◆車台実車装備情報		◆エアバッグ類 適正処理情報	
フロン類車種クラス	乗用車等	フロン類装備	有	参照	
駆フロンエアコン	無	フロン類種別	CFC		
架装物区分	01: 架装物よりリサイクル料金に含まれる	エアバッグ類装備	有		

インフレーター等の部位ごとの個数や特記事項が表示されているこの画面を印刷し、**作業場で装備を確認**することで、処理忘れを防止できます。

また、現場で「車台詳細情報」に処理結果を記入し事務所に手渡すことで、処理状況を確実に把握することができます。
荷姿作成の際にもご活用ください。

◆メーカー等提供のエアバッグ類装備情報 (「※」はオプション装着の可能性がありますので、現車をご確認ください)					
運転席		1			
助手席		1			
サイド	装備あり	※	2	6こ	回収日 8/12
カーテン		0			ケース No. 040-1234
ブリテン		2			
◆エアバッグ類 詳細情報					
一括作動システムへの対応		一括作動システム対応車両です			
機材等の部位		シートベルトプリテンショナーのみ機械式を装備しています			

取り外したインフレーターは、下表を確認の上、正しい引取基準で引き渡してください。
＜引取基準＞

項 目	基 準 の 主 な 内 容
1. 性 状	- 運転席、助手席等のエアバッグはインフレーター（ガス発生器）の状態で、シートベルトプリテンショナーはベルトを巻ききった状態で、車台から取り外されていること。 - 電気式エアバッグ類はハーネス（電源線）をショート（短絡）、機械式エアバッグ類は安全装置をはたらかせた状態であること。
2. 荷 姿	1 台分のエアバッグ類を指定された容器・袋に収納の上、専用の回収ケースに収納（全部で 10 個程度）して引き渡すこと。 - 上記の容器・袋には収納されたエアバッグ類が装備されていた使用済自動車の車台番号を記入した荷札をつけること。
3. 引取方法	- 事前に申告された運搬方法でエアバッグ類を指定引取場所に引き渡すこと。 - 電子マニフェスト制度による引渡報告が行われていること。

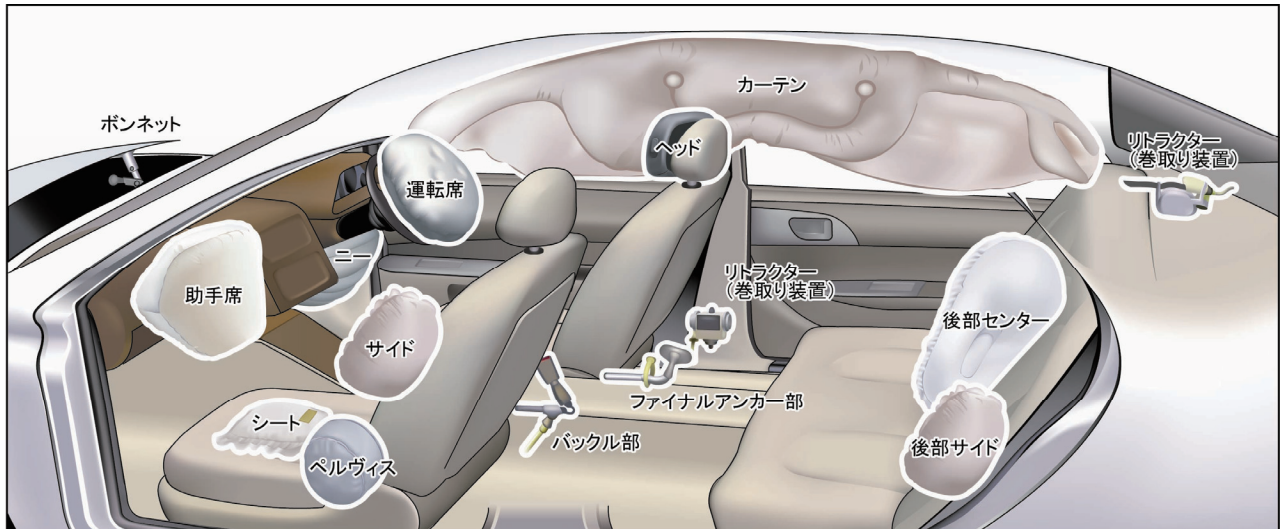
エアバッグ類の種類と確認方法

《 処理漏れ防止対策 2 》

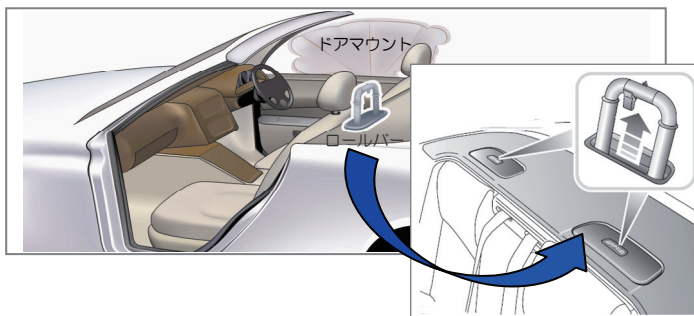
実車での装備確認

1. エアバッグ類の種類

現在販売されている車両には、運転席、助手席、シートベルト・プリテンショナーの他、サイドやカーテン、二等のエアバッグ類が装備されています（下図参照）。



ヘッドレストが動くタイプ、シートやボンネットを持ち上げるタイプなどバッグが膨らまないものも、シートベルト・プリテンショナー同様、エアバッグ類として処理が必要です。



2. エアバッグ類装備有無の確認方法

エアバッグが装備されている部位には、必ず「SRS」「AIRBAG」「SRS AIRBAG」といった表示があります。



運転席



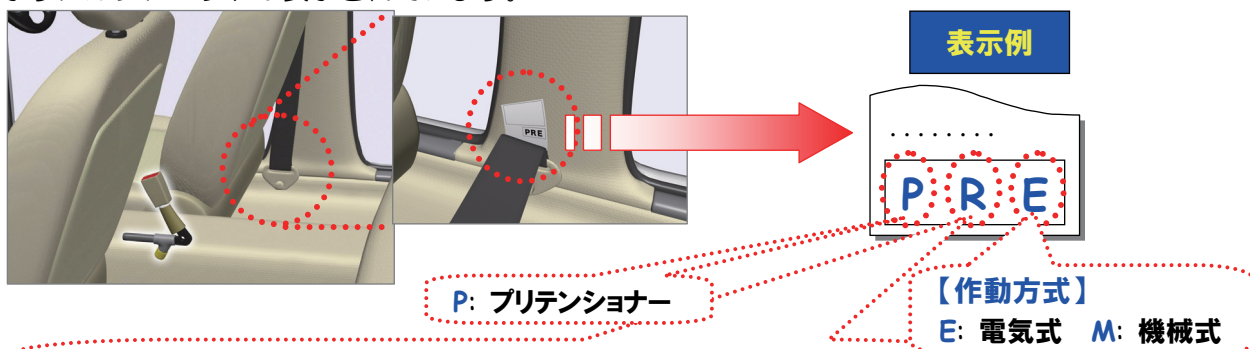
サイドエアバッグ



カーテンエアバッグ

3. シートベルト・プリテンショナー装備有無の確認方法

シートベルト・プリテンショナーが装備されている車両は、ベルト・アンカー付近のタグに装備位置を示すアルファベットが表示されています。



【装備位置】

R: リトラクター(巻取り装置)部 **L:** ファイナルアンカー部 **B:** バックル部

- ※ 【PRLE】と表示されている場合、リトラクター部とファイナルアンカー部の両部に装備されています。
- ※ 一部車種には「表示がないもの」や「表示方法が異なるもの」があるため、車台詳細情報や各社の適正処理情報を参考に全てのプリテンショナーを処理してください。

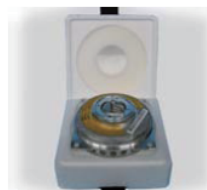
《取り外したインフレーター・シートベルトプリテンショナーは正しい性状に》

① 運転席用機械式インフレーターは**専用回収容器**に収納してください!

機械式インフレーターは強い衝撃を受けると誤作動する可能性があるため、インフレータの状態に分解したら速やかに専用回収容器に収納してください。



分解したら
専用回収容器に



② 機械式シートベルトプリテンショナーは**安全装置**を動かしてください!

機械式シートベルトプリテンショナーは自動的に安全装置が動く構造にはなっていないことから、手動で安全装置を動かした上で回収ケースに収納してください。



※ 三菱車は安全装置の形状が若干異なりますので、メーカー提供の「適正処理情報」でご確認ください。

③ 電気式インフレーター等のハーネスは**ショート**してください!

電気式インフレーター等は通電すると誤作動する可能性があるため、ハーネスのつけ根ではなく 5~10cm 程度残して切断し、先端を折りあわせて回収ケースに収納してください。



適度な長さで切断し、
先端をショート

